

ほっと♡ゆうばり 39

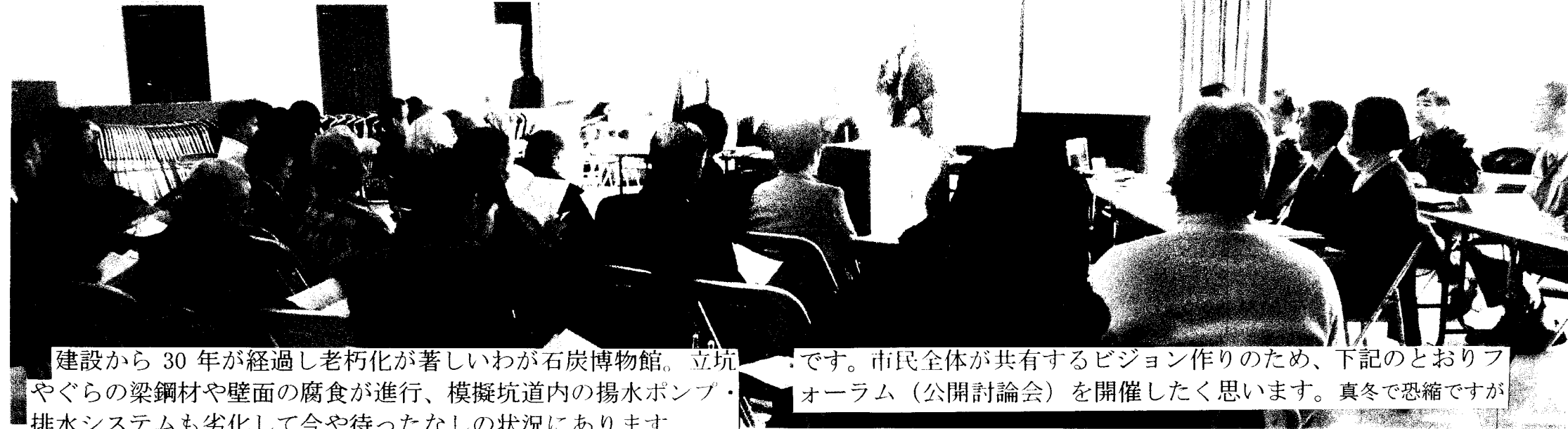
2011年1月1日 第39号 編集・発行：ゆうばり再生市民会議広報部

1月の運営委員会は1月14日(金)午後6時30分から研修センターで

ゆうばり再生市民会議事務局 Tel 090-4874-2538 園

「石炭博物館のあり方検討委員会」による報告会

12月18日(土) 市民研修センターに50人が集まって



建設から30年が経過し老朽化が著しいわが石炭博物館。立坑やぐらの梁鋼材や壁面の腐食が進行、模擬坑道内の揚水ポンプ・排水システムも劣化して今や待ったなしの状況にあります。

11月末、「市民の財産として認識を共有し、保全していくことが重要」とする報告書が検討委員会から藤倉市長に提出されたことから、市民に向けて報告会を開いたもの。

○博物館の設置経過 ○これまでの入館者数 ○施設の劣化状況 ○財政再建計画では指定管理者制度により管理委託 ○現在の指定管理者が大規模修繕するのは不可能 ○博物館維持のために、世界の宝・市民財産としての意識醸成と空知地域との広域的連携 ○国や道の助成制度活用 ○観光条例ではなく新たな設置条例の検討 ○行政・指定管理者・市民団体の協働の重要性……等々多岐に渡って説明報告されました。

石炭博物館の存続と活性化には市民レベルの提案・提言が重要

です。市民全体が共有するビジョン作りのため、下記のとおりフォーラム（公開討論会）を開催したく思います。真冬で恐縮ですが

★夕張市博物館フォーラム

石炭博物館を守れ…！

と き 1月23日(日)午前10時30分から

と ころ アディーシ会館3階

★提言 ①財政破綻問題からみた「石炭博物館」 田巻松雄

②前館長からみた「石炭博物館」 熊谷隆文

③市の職員からみた「石炭博物館」 福本昭男

④市民からみた「石炭博物館」 伊藤恵美

⑤よみがえれ！「石炭博物館」 矢野牧夫

★総合討論 石炭博物館を守れ！